

令和元年度 西神戸須磨軟式少年少女野球連盟

## 第2回会長杯Jr大会

日時：令和元年 5月25日(土) 9時～

場所：G7スタジアム神戸

主催 西神戸須磨軟式少年少女野球連盟

協賛  
須磨区役所  
ダイワマルエス株式会社  
オリックス野球クラブ株式会社  
ナガセケンコー株式会社

令和元年度 西神戸須磨軟式少年少女野球連盟 第2回会長杯Jr大会開会式 式次第

日時:令和元年 5月25日(土) 9時～  
場所:G7スタジアム神戸

1. 選手集合 8時15分
2. 選手入場 9時00分
3. 開会宣言 西神戸須磨軟式少年少女野球連盟 事務局長 藤田 崇
4. 国旗・連盟旗掲揚
5. 前年度 優勝杯・準優勝杯の返還並びにレプリカの授与  
優勝:本山フレンズ  
準優勝:宮川・若草連合
6. 挨拶  
①主催者挨拶 ○西神戸須磨軟式少年少女野球連盟会長 山里 勉  
○西神戸須磨軟式少年少女野球連盟理事長 志賀 久高  
  
②来賓挨拶 ○須磨区長 片山 昌俊  
○全神戸軟式少年野球連盟 理事長 丸毛 明  
○ダイワマルエス株式会社 筒井 史剛  
○オリックス野球クラブ株式会社 小浜 裕一  
○衆議院・兵庫県議会・神戸市議会 代表  
  
③来賓紹介
7. 審判長訓示 大会審判部長 光辻 慎二
8. 選手宣誓 妙法寺少年野球部 主将 小島 隆太郎
9. 始球式 投手:代表先生 捕手:志賀理事長 打者:片山区長様
10. 閉会の言葉 西神戸須磨軟式少年少女野球連盟 副会長 三田 謙二
11. 選手退場

## 西神戸須磨軟式少年少女野球連盟会長杯ジュニア大会規定

下記規定以外は西神戸須磨軟式少年少女野球連盟大会規定を適用する。

1. 競技場 ①投手版と本塁の距離は14m、塁間は21mとする。  
②フェアグラウンド内の距離は原則55mとする。(球場のグラウンドルールに準ずる)
2. 用具 ①試合球は、大会指定球。(連盟で用意する)  
②全日本軟式野球連盟公認バットを使用。(複合バットは可)
3. 服装 ①選手は、原則ユニフォームとするが、体操服でも認める。  
但し、チーム帽子と背番号は着用すること。  
②ベンチ入り指導者は、チーム統一のユニフォーム又は、白のTシャツかポロシャツと黒又はグレーか紺のズボン。  
但し、監督又は代理監督はチームユニフォームを着用しなければならない。
4. 試合 ①6回戦時間制で、1時間20分を過ぎれば、新しいイニングに入らない。  
②延長戦は行わない。  
③同点の場合は、「無死満塁方式」で、特別延長戦にて勝敗を決める。  
特別延長は(決勝戦を除き)1回のみ行う。  
(監督の選択、無死満塁、1塁最終打者→2塁→3塁)  
1回の特別延長にて勝敗がつかない場合は抽選とする。  
(抽選方法)1、試合終了時に出場していた両チームのメンバーのみを挨拶の状態に整列させる。  
2、抽選用紙に○、白票各9枚を封筒に入れたものを用意する。  
3、審判員が18枚の封筒を持ち先攻チームより1枚ずつ交互に選ばせる  
4、選手は必ず中身を見ず、封筒をそのまま監督に渡す。  
5、審判員2名ずつ各チーム監督とともに開封し○の多い方を抽選勝ちとする。  
6、両チーム全員を整列させ挨拶し、試合終了とする。  
決勝戦のみ1時間30分を超えて新しいイニングに入らず、同点の場合特別延長に入る。抽選しない。  
④点差によるコールドゲームは、3回15点、4回10点、5回7点、とする。  
⑤降雨、日没等、審判団協議により試合続行不可能となった場合は、4回終了時後であれば試合は成立する。  
⑥ボークは適用しないが、注意と指導をする。  
⑦抗議権はない。但し、ルールの確認のみ監督は出来る。たとえどんな理由があってもプレイヤー及び審判員に対し悪口・暴言を禁ずる。
5. 運営 ①試合開始予定時間の45分前に、監督と主将は、メンバー表3通(決勝戦は4通)チーム旗を持参し、本部席に届出し主将のジャンケンで先攻後攻を決める。  
交通事情等で遅れる場合は事務局に必ず連絡の事。  
②ベンチは、組み合わせ番号の若番が、1塁側とする。  
③ベンチ入り指導者は、5名以内とする。選手はメンバー表明記選手とする。  
5年生以上の選手が、メンバー表明記されていれば、チームの失格負けとする。  
④審判は前後審判とする。  
若番(勝利チーム)は、球審・2塁審。後番(敗者チーム)は、1塁審・3塁審  
⑤本部席(記録係)2名は、各チーム1名とする。(相互本部)(自チームの試合)  
⑥試合前ノックは、原則4分間とするが、試合運営上行わない場合もある。  
本部席(事務局からの指示)に従う事。
6. その他(注意事項)  
①グラウンドで発生した負傷等に主催者では一切その責任は持てません。  
②各チームで責任をもって対応して下さい。  
令和元年5月